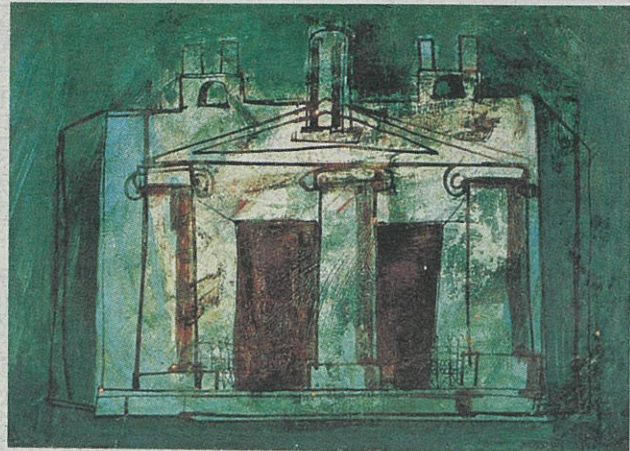


〈名画の扉〉

大川美術館企画展から

「建物（青）」

1948年、油彩・カンバス
24・0センチ×33・0センチ



松本竣介 (1912〜48年)

昨年は、松本竣介没 70周年の年でした。当館ではこれを記念し一年を通じて四つのテーマの松本竣介展を開催してまいりました。この秋「松本竣介街歩き時間」で最終回となります。

現在開催中のベストコレクション展では、15点の竣介作品をご覧いただけます。

ところで、初代館長大川栄二は、1970年代初頭から竣介のコレクションを始めています。

「竣介に魅入られた私が、竣介に関することは、絵以外にもなんでも識したく」といって、

一人者である土方定一や朝日晃ら評論家たちとの知遇も得てゆくのでした。竣介と多面的に向き合おうとした大川の熱い姿勢がうかがえます。

竣介死の1カ月前、高熱をおして仕上げたと思われる本作について大川は「一本も無駄な線のない簡潔で荘嚴な画趣」と評し、竣介最後の制作に思いを寄せ

ています。(小此木)